

IV-7

合理的配慮の考え方

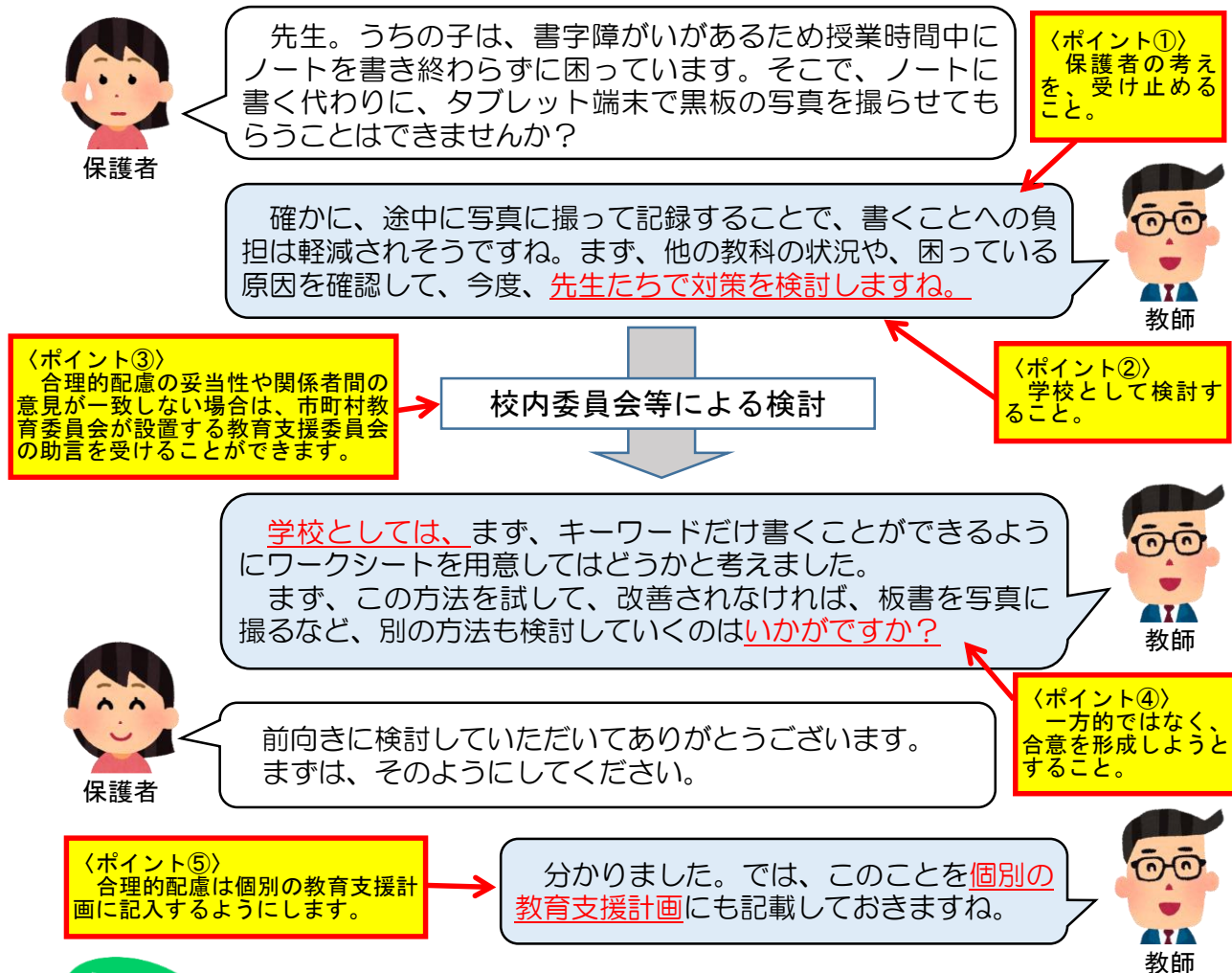
(1) 合理的配慮とは

合理的配慮とは、障がいがあることによって生じる困りごとの解消や軽減に向けて、社会全体で必要な対応をしていこうという考え方であり、障がいのある子供が、他の子供と平等に教育を受けたり、社会生活に平等に参加したりできるように、一人一人の特徴や場面に応じて生じる困難を取り除くための調整や変更のことです。合理的配慮は個別に必要とされるものであり、「学校の設置者及び、学校に対して、体制面、財政面において、均衡を失した又は過度の負担を課さないもの」と定義されています。

※合理的配慮の否定は、障がいを理由とする差別に含まれることに留意が必要です。
 ※合理的配慮の提供は、公共機関においては努力義務から法的義務へと改められています。

(2) 合理的配慮の提供に至るまでのポイント

書くことが苦手な子供の保護者から合理的配慮の希望があった際の対応の例を基に、ポイントを整理します。



データベースから合理的配慮に係る事例の検索ができます！

インクルDBは、「合理的配慮」に関する実践事例の検索や、インクルーシブ教育システム構築の相談及び関連する様々な情報収集をすることができます。

